

綾栄会 16 ニュース

第48号

平成28年12月1日発行

学校法人 香川栄養学園 募金担当
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3
tel.03-3915-3668

- 坂戸キャンパス
女子栄養大学大学院
女子栄養大学（栄養学部）
- 駒込キャンパス
女子栄養大学（栄養学部二部）
女子栄養大学短期大学部
香川調理製菓専門学校

「学長香川芳子先生」の二十五周年

女子栄養大学・女子栄養大学短期大学部
副学長 五明紀春



平成二十八年四月、香川芳子先生は学園長に就任し、二十五年間の学長職を子息香川明夫先生に託し、第一線を退かれました。母香川綾先生の遺された大きく重いレガシーを一身に受け止め、「創学の旗」を守り抜き、現在の学園へと導いてこられました。この間、とりわけ十八歳人口が急速に減り続け、「大学冬の時代」と盛んに言われるようになり、管理栄養士養成施設が増えるなど、一瞬も気の休まる時はなかったと思います。創業から守成に向かう、波瀾の学園史においても、ある意味で最も困難な時期でもありました。本学のミッションを片時も忘れない芳子先生の揺るぎない信念があつてこそ、教職員は結束して、この難関を乗り越えてくる事が出来たと思えます。

平成元年、宿願の大学院栄養学専攻博士後期課程設置を成し遂げた香川綾先生（九十歳）は、同二年に芳子先生に学長職、校長職（平成二十四年三月まで）を譲られました。これを転機に、学園の「竹まゐ」は一段と大きく変わりました。学長就任の年、栄養科学研究所の設立はじめ、同五年文化栄養学科を、同七年大学院保健学専攻修士課程を、同九年大学院保健学専攻博士後期課程など、矢継ぎ早に「教育課程」を開設してきました。同九年には綾先生（学園長）が九十八歳で永眠されました。その後、平成十二年に短期大学を改組、「女子栄養大学短期大学部」に名称変更、同十五年に栄養学部を実践栄養学科・保健栄養学科・文化栄養学科の三学科体制に再編しました。さらに、同十八年には文化栄養学科を食文化栄養学科に名称変更、同二十二年に専門学校は栄養士科定員を短期大学部に振り替え、「香川調理製菓専門学校」に改組しました。同二十六年の専門学校定員増認可、また二部保健栄養

学科の閉鎖（同三十一年）の方針を決定しました。この間にも、芳子先生は、一貫して学生・生徒一人一人との血の通った教育に腐心され、教育者としての範を全学に示してこられました。母校との固い絆の下、学園卒業生も今や五万人に達するところまで来ました。

平成二十七年から、学校教育法の改正により、学長室新設など、学長職のあり方が大きく変わり、関連の諸規程も大幅に改定されました。新しい路線を敷いて、新学長に跡を託されました。なお、芳子先生は同二十五年十二月に理事長（同二十七年三月まで）を務められています。

この間、学長職にあつて、厚生労働・文部科学・農林水産各省はじめ地方自治体の委員、民間団体の理事長・理事等を多数歴任されました。ことに医療費激増時代において、本学の使命である「二次予防」に対する社会的要請に応えるために、以下のような活動に全力を傾注されてきました。

①栄養学研究の実践的展開

栄養クリニック（昭和四十三年開設を拠点に、香川式食事法（四群点数法）の肥満症治療効果を実証、食事改善による生活習慣病予防効果のエビデンスを蓄積されました。

②管理栄養士・栄養士の養成

「栄養学の知識を人々の健康・福祉に生かす指導者の養成」に努め、そのために学生自らが栄養学の知識を実践する「実践栄養学」の独自の教育方法論を発展させ、多数の人材を養成・輩出しました。一方、（社）全国栄養士養成施設協会等で指導的な立場から、管理栄養士・栄養士養成教育の改善・向上に取り組んでこられました。

③食育活動の推進

正しい栄養学知識の普及を図るため、本学出版部を拠点に、月刊誌「栄養と料理」をはじめ、多数の出版物を企画・編集・刊行を指導されてきました。一方、中教審臨時委員等として、栄養学制度の導入、食育基本法の策定等に尽力、先頭に立って食育の普及活動に努めてこられました。

④行政への貢献

国の教育行政・健康行政・食品行政の指針づくりに、各種委員会で尽力され、多くの提言を

されてきました。一方、全国多数の自治体（県・市町村）との包括協定を結び、行政現場における連携事業を精力的に推進してこられました。

芳子先生は、一貫して管理栄養士・栄養士教育における調理の重要性を主張し、「栄養と料理」の原点回帰に思いを致しておられました。とりわけ綾先生の始められた「家庭料理技能検定」（文科省後援）の継続・発展に、食育の立場から精力的に取り組んでこられました。（注1）

近年の「調理軽視の風潮」と「現場における業務能力の低下」に強い危機感を抱き、次のように述べています（注2）。

「各職場で入職した管理栄養士・栄養士が調理師に的確な食事計画や調理の指導ができないと聞くことが増えています。食材に関する知識、調理の影響、調理法や献立作成、食文化の理解、喫食者の食事歴などの理解がなければ良い供食も食事指導（教育）もできません。残食増加、栄養状態の低下、外部の食物入手などで食生活が改善されないようでは、管理栄養士の存在は無意味になりかねません。管理栄養士・栄養士の独自の分野「食」を大切にすることは、喫食者の栄養改善による「QOLの向上」につながる方途であり、他職種との協働や信頼関係獲得の基本です。」

静かな口調の中に、信じる道をひた走つてこられた芳子先生の強靱な意思を読み取ることが出来ます。この強い思いを新学長の明夫先生が碑「食は生命なり」（注3）に刻まれました。

（注1）昭和二十八年「女子栄養大学調理技術検定」としてスタート、同六十二年文部省認定「家庭料理技能検定」、平成十八年文科省後援「家庭料理技能検定」となる。同二十九年より全日本中学校長会、全国連合小学校長会の後援も得る。

（注2）学長懇談会「管理栄養士・栄養士教育のあり方について」平成十五年三月二十一日（木）松柏軒。この懇談会は、香友会（同窓会）支部長（全図）を招いて開催された。

（注3）新学長香川明夫先生の強い希望で、平成二十八年四月一日、坂戸・駒込両キャンパス正門傍に建立された。

学長就任披露パーティーの開催

10月29日(土)、坂戸キャンパスにおいて、女子栄養大学・女子栄養大学短期大学部 香川明夫学長就任披露パーティーを開催しました。(本年4月1日より学長に就任)

当日は、天候にも恵まれ、学外から当初の予定を上回る370名程のお客様をお迎えいたしました。

パーティーでは、埼玉県副知事 塩川修様、埼玉医科大学学長 別所正美様、卒業生でもある衆議院議員 土屋品子様、全国栄養士養成施設協会会長 滝川嘉彦様、学校法人鎌倉女子大学理事長 福井一光様よりご祝辞を賜り、乾杯のご発声を実践女子大学学長 田島 眞様より頂戴いたしました。本学レストランの松柏軒、専門学校の教員・スタッフ・生徒によるおもてなしの料理やスイーツを召し上がっていただきながら、懇談の時間を過ごしていただきました。

香川明夫学長は、就任のご挨拶とし



て、香川芳子前学長が学園長に就任されたことのご報告(ご挨拶の後、学長より学園長に花束を贈り、これまでの労に感謝されました)をされ、「創設者の精神『食は生命なり』を実践して参りました。与えられた生命を全うするための正しい食生活の普及は、この学校の創設以来の変わらぬ使命でございます。微力ながら、この使命を果すために、新学長として、全学一丸となつて、邁進していく決意でございます」との強い思いを語られました。

お出でいただいたお客様からは、お祝いのお言葉をいただくとともに、おもてなしの料理に対するお褒めの言葉を多数いただきました。

2時間程ではありましたが、これまでの確実な歩みを踏まえ、さらなる発展へ向けての大学の思いを皆さまにお伝えすることができ、盛会のうちに終了することができました。

学園トピックス

西洋フード・コンパスグループ株式会社と「産学連携包括協力に関する協定」を締結

5月27日(金)、駒込キャンパス 松柏軒において、西洋フード・コンパスグループ株式会社との「産学連携包括協力に関する協定」の締結式を行いました。

同社の受託運営する企業等の食堂では、2015年5月より大学の監修(監修:給食・栄養管理研究室 石田裕美教授)したメニューが提供されており、今後は監修メニューの他にも健康施策の展開を計画しており、より積極的な活動を行うべく、改めて連携協定の締結となりました。

締結式後には「エネルギーバランス・食品バランス・味付けバランス」をコンセプトとした監修メニューの試食会が行われました。



埼玉縣信用金庫と一般社団法人さいしんコロナ産学官との「産学連携包括協力に関する協定」を締結

7月28日(木)、坂戸キャンパスにおいて、埼玉縣信用金庫と一般社団法人さいしんコロナ産学官との3者間での「産学連携包括協力に関する協定」の締結式が行われました。

今後、主に埼玉県内中小企業を対象として、地域社会における技術開発、技術教育等



を支援するとともに、新事業の創出等、地域の産業振興に寄与していきます。これで金融機関との連携は埼玉りそな銀行に続いて2件目となります。

栃木県市貝町と「包括連携に関する協定」を締結

10月6日(木)、栃木県市貝町役場において、市貝町との「包括連携に関する協定」の締結式を行いました。

栃木県の自治体との締結は初めてのことであり、締結式終了後、武見ゆかり教授(食生態学研究室)による「市貝町住民の健康寿命延伸のために」をテーマとした講演が行われました。

今後、同町における「加齢と食生活」・「発達と栄養」・「食品開発」等の分野に関し、連携しての活動を行っていきます。



東京医科大学と「包括連携に関する協定」を締結

10月21日(金)、東京医科大学(東京都新宿区)との「包括連携に関する協定」の締結式が同大学内にて行われました。

今後は相互の教員・学生の交流や育成を図るとともに、「医」と「食」により人々の健康的な生活に寄与するための様々な取り組みを進めて行く予定です。



綾栄会事務局よりの報告

「平成28年度 DNP 奨学金」授与式を開催

5月21日(土)に「平成28年度 DNP 奨学金」授与式が奨学生10名のうち8名参加のもと、坂戸キャンパスにて開催されました。(奨学生…大学8名、短期大学部2名)。

この奨学金制度は、株式会社DNP ファシリテイサービストとの連携協力に基づき設立されたもので、栄養学部・短期大学の最終学年に在籍する成績優秀者10名に奨学金(10万円)として給付されるものです。

今回で4回目の開催となる授与式には、同社の柳代表取締役にご列席いただき、奨学生一人ひとりに対し、香川学長と柳社長よりそれぞれ奨学証書と奨学金が授与されました。

授与式後の会食・

歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



「平成28年度 野口医学研究所奨学金」授与式を開催

10月18日(火)に「平成28年度 野口医学研究所奨学金」授与式が奨学生13名参加のもと、駒込キャンパスにて開催されました(奨学生…大学9名、短期大学部2名、専門学校2名)。

本奨学金は、修学意欲がありながら経済的な支援を必要とする、栄養学部・栄養学部二部・短期大学部・専門学校・最終学年に在籍する学生及び生徒に、一年間にわたり奨学生一人月額2万円計24万円が給付され、学納金として充当されるものです。

今回で4回目の開催となる授与式には野口医学研究所より創設者の浅野名誉理事をはじめ4名にご列席いただき、奨学生一人ひとりに対し浅野名誉理事より奨学証書の授与が行なわれました。

授与式後の会食・

歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



香友会(同窓会)からの寄付

6月26日(日)坂戸キャンパスにて開催された平成28年度香友会ホームカミングデーのランチパーティーにおいて、女子栄養大学香友会 山下静江会長より香川明夫理事長に綾栄会募金へのご寄付として100万円の日録贈呈が行なわれました。香友会の皆様からのご支援に篤く御礼申し上げます。



女子栄養大学大学院「西洋フード・コンパストグループ株式会社」奨学金の設立

西洋フード・コンパストグループ株式会社と本学との連携包括協力に基づき、ご提供いただきました資金を原資として、女子栄養大学大学院「西洋フード・コンパストグループ株式会社」奨学金が設立されました。この奨学金はフードサービスに関連する学修への奨学金として、今年度より開講した文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」のNutritionBP食環境コースを受講する本学大学院生のために活用させていただきます。

株式会社ユースからの奨学寄付金

株式会社ユースからご提供をいただきました資金を原資として、栄養学部・栄養学部二部・短期大学部・専門学校に在籍する奨学生を対象とした調理実習優秀者への奨学金として活用させていただきます。

香川栄養学園 古本募金を開始いたしました。

皆様の読み終わった本が学生・生徒の生活充実支援のために教育・研究環境の整備などに役立てられます。

ご不要になった本やCD・DVDをご提供ください。その買取価格が全額、香川栄養学園への寄付となり、学生・生徒の生活充実支援に役立てられる取組です。

古本募金の2016年5月～9月までの受付分は75件(7,398冊)で寄付金額は177,825円となりました。お申し込みをいただきました皆様に御礼申し上げます。

香川栄養学園 古本募金

検索

(提携会社) (株)バリューブックス フリーダイヤル 0120-826-292

ご寄付者一覧

第48回報告

平成28年4月～28年9月末日お申し込み分

ご寄付をいただいたかたがたのご芳名を掲載しております
(五十音順、敬称は省略させていただきます)。
ご支援を賜りありがとうございました。御礼申し上げます。

- 2回以上ご寄付をいただいた個人・法人のご芳名も1回の掲載とさせていただきます。
 - 住所・氏名など変更がありましたら、お手数ですが綾米会事務局 (TEL03-3915-3668 E-mail:bokin@eiyo.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。
- また、綾米会に関するご希望、ご意見も遠慮なくお寄せください。

個人

卒業生 篤志家 学園教職員

相原 晶子
青木 章子
足立 望
天野 雪子
安藤 知子
池内 和恵
井越 尚子
石田 憲治
石原 雅義
石山 三貴男
板谷 幸恵
一松 倫子
井手 政司
伊藤 仁美
稲葉 三起夫
稲山 貴代
伊吹 憲昭
井元 りえ
岩崎 明子
岩間 範子
内野 美保
江連 延子
遠藤 伸子
遠藤 徳夫
大木 充
大河内 教好
大沼 久美子
岡崎 ゆき江
小川 三保子
荻原 英子
奥嶋 研司
奥嶋 佐知子
奥堂 雅之

小野 仁子
斧 輝代
小野 幸恵
香川 明夫
加藤 宏幸
金澤 久美子
金谷 滋子
金子 悦子
金子 久美子
金田 雅代
亀田 紘子
川端 輝江
神戸 よしえ
菊地 千枝子
久保田 徳子
熊谷 啓子
熊沢 孝仁
黒川 薫
小池 澄子
小久保 和代
小林 栄
小松 孝正
五明 紀春
小森 明
近藤 美恵子
西塔 正孝
佐伯 文子
坂本 禮子
佐々木 浩二
佐藤 智英
佐野 妙子
佐橋 省三
渋谷 まさと
嶋田 さやか
清水 依理子
清水 豊
女子栄養大学香友会
菅原 久美子
杉浦 弘子

杉本 勝行
杉山 成二
杉山 大
鈴木 直人
鈴木 久乃
住友 孝郎
住友 裕子
関 純子
祖父江 友佑
染谷 忠彦
高木 敬子
高城 孝助
高橋 茂子
高橋 伸子
高橋 真由美
竹井 真理子
竹川 美佐子
田澤 きよみ
立野 恵美子
田中 芳郎
田中 久子
土屋 純一
東畑 朝子
富永 暁子
富野 博樹
長崎 充雄
長島 青
中津井 祐一
中屋 祐子
新井田 弘
根岸 由紀子
野田 章子
萩原 久江
橋詰 廣道
橋本 幸治
橋本 英明
長谷川 満
羽鳥 洋子

羽根井 祐子
林 修
原口 英男
廣末 トシ子
福田 恵美子
福田 加代子
藤田 和子
古川 瑞雄
古海 大輔
細野 幹人
堀江 修一
松尾 鉄城
三浦 理代
道上 裕之
三保谷 智子
宮田 寛敬
宮本 佳代子
村上 陽子
矢野 大介
山田 恵子
山本 美佐枝
吉岡 久
吉田 企世子
吉成 台子
渡部 修司

保護者 在校生

芦田 佳子
石川 繁
石原 益行
稲積 綾香
大高 志正
太田原 葉奈
片桐 英郎
金谷 次郎
狩野 恭子

河合 聡子
菊谷 正美
君島 智子
桑名 信至
齋藤 時子
先崎 安克
篠田 知克
杉原 悦子
曾谷 えり子
大藤 夕美子
田中 美佳
筒井 祐子
手塚 貴志
中村 博司
中村 悌章
仁田 智之
新田 和枝
原 茂
半田 昭仁
藤田 佳将
松田 隆史
松本 民司
溝口 尚
三原 直子
宮田 保彦
村山 聡子
村山 泰治
森 保子
柳多 徹郎
山口 和代
横田 哲也
吉田 多津江
米倉 隆
渡邊 誠司
渡邊 正美

匿名 112名

法人

有限会社 RMステーション
株式会社 アイト
公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団
株式会社 栄美通信
オーエリックス株式会社
株式会社 オーバル・アドバタイジング
カネテツデリカフーズ株式会社
株式会社 鎌谷書店

恵雅堂出版株式会社
株式会社 埼玉種畜牧場
C for U 株式会社
西洋フード・コンパスグループ株式会社
株式会社 ダンアート
藤次郎株式会社
ハウスウェルネスフーズ株式会社
榛名商事

株式会社 ベルク
瑞穂印刷株式会社
道 株式会社
株式会社 三井
株式会社 みづほ
株式会社 ユース
株式会社 ライオン事務器

香川栄養学園 教育・研究促進事業

《募金報告》		個人		法人		合計	
		金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
	今回48号報告分 平成28年4月～9月	10,393,326円	309件	3,720,000円	23件	14,113,326円	332件
	古本募金 平成28年5月～9月受付分	177,825円	75件 (7,398冊)				